シルバーいずみさの

第50号

平成30年1月発行
会員数926名

公益社団法人 泉佐野市シルバー人材センター　〒598−0048　泉佐野市りんくう往来北2番51　TEL 072−461−0550　FAX 072−461−0850

飛翔

明けまして おめでとうございます

題字「飛翔」　毛綿谷　成美　東部3−2班

切り絵　題「鶴と赤富士」　後藤　武　北部3−1班

平成30年 元旦

謹賀新年

理事長	松浪　啓一
副理事長	濵﨑　海雄
常務理事	竹内　延吉
理事	石川　明正
〃	金廣　博文
〃	楠畑　浩一
〃	辻野美代子
〃	永橋　學
〃	西川　正美
〃	福井　俊秋
〃	藤井　敞子
〃	毛綿谷成美
〃	矢倉　幸子
〃	山口登志雄
監事	兼重　伸明
〃	熊田　佳記
	職員一同

理事・監事50音順

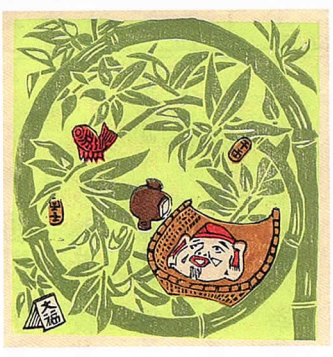
新春のご挨拶

理事長　松浪啓一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、皆様には、シルバー会員としての日頃の就業、並びに諸活動への参加につきまして心より感謝を申し上げます。

さて、当センターはお蔭をもちまして、昭和六十二年十月の設立から数え、今年で三十一年目、公益法人となってから七年目を迎えることができました。この三十年余の間にシルバー人材センターを取り巻く社会情勢は大きく変化してまいりましたが、その変化に対応しながら今日を迎えております。一昨年の新聞報道で「出生数九七万六千人、初の一〇〇万人割れ」といった記事が掲載されました。会員の方々の年代では、同じ年に生まれた人が、一五〇万人～二五〇万人位おられたかと思いますがそれに比べ、今生まれる子どもの数は半数以下ということであります。「少子化の進行」ということを痛感させられました。少子化に伴う生産年齢人口の減少は「高齢者への期待、ひいては。シルバー人材センターへの期待が高まる」ということにもなります。最近「生涯現役社会」という言葉を耳にするようになりました。これは『年齢に関係なく働く意欲のあるうちは生涯現役で活躍し続けられる社会』ということで「社会の活力維持」を念頭に、厚生労働省においては、目下その社会の実現に向けて様々な施策が検討されており、シルバー人材センター事業も、その施策の中に位置づけされています。シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものがありますが、「積極的な会員拡大」「就業機会の開拓・拡大」「安全・適正就業の確保」「発注者の皆さんと会員の皆さんの満足度の向上」を目指し、努力してまいりたいと思います。会員の皆様。関係各位のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

泉佐野市長　千代松　大耕

新年明けましておめでとうございます。

泉佐野市シルバー人材センター会員の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は松浪理事長様をはじめ会員の皆様方には市政の推進、とりわけ高齢者福祉の向上に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼と感謝を申し上げます。

さて、高齢者を取り巻く環境は、高年齢者雇用安定法の施行によりまして六十五歳までの継続雇用制度や六十五歳を過ぎても同じ職場で短時間就業ができるなど、大きく環境変化しております。

少子高齢化により就業人口が減少し、あらゆる分野において担い手不足が深刻化している中、就業機会の提供や環境の整備など、貴センター様の役割はますます大きくなるものと考えております。

本市といたしましても、高齢者の皆様が元気で、日々楽しく過ごせるようなまちづくりに、より一層努力して参りますので、会員の皆様方におかれましては、貴センター様の理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、事業を一層推進いただき、就業・活動を通じた活力ある地域社会づくりにご貢献賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴センター様の今後の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

活動報告

平成29年 普及啓発活動

商業施設前で会員募集のチラシ配布

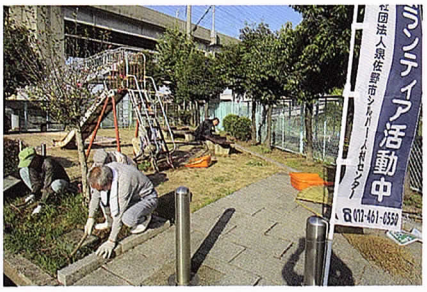
■ 3月11日(土) センター役員による普及啓発活動（市内商業施設4ヶ所）
■ 4月 8 日(土) 西芳寺（市内下瓦屋町）を訪問（喜楽楽〈鳴子おどり〉）
■ 4月10日(月) 社会福祉法人アムリタ（市内長滝）を訪問
（華一座〈南京玉すだれ〉）
■ 6月25日(日) 高松町4町長生会で披露（華一座）
■ 8月 6 日(日) 泉陽ヶ丘自治会福祉委員会で披露（華一座）
■ 8月23日(水) 泉ヶ丘福祉会　盆踊りに参加
■ 8月27日(日) シルバー人材センター「第4回夕涼み会」を開催

大いに賑わった「夕涼み会」

■ 9月 9 日(土) 社会福祉法人アムリタを訪問（喜楽楽・華一座）
■ 9月13日(水) 介護付有料老人ホーム櫻苑を訪問（市内羽倉崎上町）（華一座）
■ 9月24日(日) ザ・まつりに参加（喜楽楽）

ザ・まつりでの喜楽楽のみなさん
鳴子踊りでのパレード

■ 10月1日(日)～11月12日(日) 全国シルバー人材センター普及啓発月間　地域班活動



《地域班19班19ヶ所の市内公園等の清掃活動を行いました》

■ 10月 2 日(月) 社会福祉協議会で披露（華一座）
■ 10月15日(日) 「ゑぇじゃないか祭り」に参加（喜楽楽）
■ 10月22日(日) グループホーム桂苑（市内羽倉崎）を訪問（華一座）
■ 11月12日(日) 末広地区福祉委員会「秋のつどい」で披露（喜楽楽）
■ 11月19日(日) 羽倉崎福祉委員会「おしゃべりふれあいの集い」で披露　（華一座）
■ 11月22日(水) かけはし　ふれあいサロン（市内長滝）を訪問（華一座）
■ 11月24日(金) 介護老人保健施設エルダーケア（市内中庄）を訪問　（喜楽楽・華一座）

ゑぇじゃないか祭り

華一座のみなさんの「南京玉すだれ」披露

ボランティア活動

- ■ 5 月19日(金)　南海駅周辺清掃活動
- ■ 6 月28日(水)　市内小学校一斉パトロール
- ■ 9 月 1 日(金)　泉佐野市主催「駅前早朝クリーン」活動
- ■ 10月25日(水)　市内小学校一斉パトロール
- ■ 11月17日(金)　南海駅周辺清掃活動

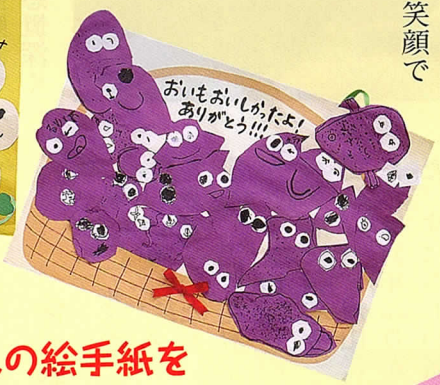
5月19日の清掃活動

感謝状をいただきました

11月16日、泉佐野市役所でシルバー人材センター同好会の日ごろの福祉施設等への慰問などの、ボランティア活動に対して、千代松大耕市長より感謝状をいただきました。

ふれあい農園事業　今年も畑に園児の笑顔が！

十一月九日と十一月二十二の二日間、シルバー人材センターの店「よってちょうだい」に隣接の畑で「泉佐野市立さくら子ども園」の園児九〇人と市内の「スマイルピース保育学園」の園児二十四人が、さつま芋の収穫体験をしました。両日とも天気に恵まれ畑の中は園児の歓声と笑顔でいっぱいでした。



園児より
たくさんのお礼の絵手紙を
いただきました。

広　場

ボウリングでリフレッシュ

深　海　幸　子　南部1－3班

投楽会が発足したのは、平成二十六年四月です。会場は市内にある阪南ボウリングで毎月第一土曜日に活動しています。チーム名は、上手、下手じゃなく、投げて楽しくということで「投楽会」と名付けました。男女合わせて三十数名ですが、皆それぞれに仕事に就いていますので全員揃ってゲームをすることがありません。

いつも和気あいあいで、青春時代を取り戻したようにボールを投げて楽しんでいます。特にストライクが出た時の爽快感はストレス解消になります。又、足や腰の調子の悪い時もありますが、痛みも忘れチームメイトの元気をもらって頑張って、少しでも長く続けられたら良いなぁと思っています。皆さんも仲間になりませんか。

熊野古道を行く

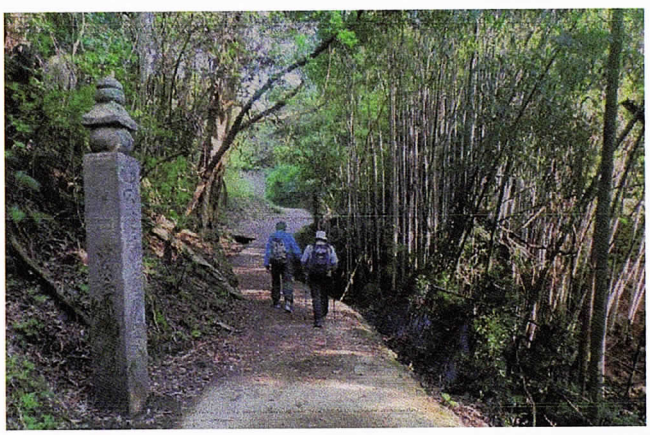
長　崎　定　信　西部1－2班

熊野古道に魅入られて三年。私の目標は全五百五十五㎞を踏破することです。現在四百三十㎞で、年齢・体力を考慮すると、後三年内に完歩せねばならぬと思っています。

さて、熊野古道は平地もかなりありますが、大阪府以外は山歩きと思われた方がよいでしょう。歩くに際し或る程度歴史的な知識を身に付けておくと、尚一層歩く楽しみも増すと思います。

路傍に佇む石仏や祠は、何百年と熊野詣する人々を見守ってくれたかと思うと感慨深くなります。

ひょっとすれば後鳥羽上皇や藤原定家も手を合わせたかと思うと…。往時の熊野古道の雰囲気を近場で手軽に味わいたいと思われるなら、大阪府で唯一の地道である琵琶懸（びわがけ）に行かれるとよいでしょう。



阪和線和泉鳥取駅を降り山手に向ってガードを潜り、紀州街道を横切るとガレージがあります。その前の道を行くと、二百m程度の地道が琵琶懸（道）です。

その昔、一琵琶法師が一念発起、熊野三山を目指したのですが、如何せん盲人であるが故に、足を踏み外し五十m下の山中川に滑落し命を失ったことから琵琶懸と言われる様になりました。今も恐らく当時の状況と殆ど変わらないと思われますので、行かれる方は呉々もご注意を。

今回は嵐山渡月橋あたりをそぞろ歩き

仲　野　義　政　西部4－1班

私、「一歩会」に入会して二年位になるでしょうか。いろいろな所に行き、楽しく旅行をさせていただいています。今回は京都の奥座敷、湯の花温泉「渓山閣」松茸づくし会席がメインの旅行の予定でしたが、先日の台風の影響で散策が、出来ないと言う事で行先変更になり、嵐山に行くことになりました。

私は何年ぶりかで渡月橋付近を散策しました。すばらしい景色でしたが、台風の後で川の水が濁っていたのが少し残念でした。外国人、修学旅行生などで観光客が多かったです。楽しみにしていた昼食は焼松茸、牛肉と松茸のすき焼、あわびと松茸のステーキ、その他で腹一杯になりました。私だけでなく他の一歩会の皆さんも大変満足そうな顔をしておら

会員の

「楽墨会」で和気藹藹と

渡邊俊幸　南部1－2班

「光陰矢の如し」と言いますが本当に月日の過ぎるのは早いものですね。「楽墨会」も発足して十年目となりました。最初は毛筆で年賀状が書けるようになればとの思いで入会しました。

幸に講師は会員の毛綿谷成美さんにお願いしました。毛綿谷さんは賞状揮毫士で表彰状の書き方や、宛名書きなど分かりやすく丁寧に指導して下さいます。又、「誰も最初から上手に書けるものではない、毛筆で書き続けていればそれなりに書ける」何事も続ける努力が上達の道だ」と言われて、気が楽になりました。

最近は同好会の皆さんが積極的に作品を製作されセンター会議室に展示されています。

現在会員十二名で毎月第二、第四土曜に和気藹藹と楽しく学んでいます。興味のある方は是非教室に遊びに来てください。

蘭　風

れました。

「一歩会」はいつも楽しい旅行を計画してくれますので喜んで毎回参加しています。旅行の計画をプランニングしてくださる役員の皆さんいつもありがとうございます。

「九十歳、何がめでたい」を読んで

矢倉幸子　西部4－2班

とにかく、面白い。フッフッと含み笑いが、ついついこぼれる。私の心をつかんで離さないこの愉快さよ！　どのメッセージも「そうだ、そうだ」と相づちを打つ…『文明は充分に発達をし、進歩もした』とおっしゃっている。その通りだと思う。パソコン・インターネット。スマホ等々、扱いがとても煩わしい？いえ煩わしくなったのであろう（加齢のせいで）。「スマホも出来ないで、よく生きてこられたね」とは、今の小学生の声だそうだ。

この頃、よく「自分の道をゆく」とか聴く、が心の豊かさや、思いやりの気持ちがあっての「自分の道」ではないでしょうか？

私も思えばもう、ずい分永い間生きてきた。「これは」と言えるものは、なにもない!!その時、その時を、ただ一生懸命生きている。「こんなので、いいのでしょうか？」と神サマにきいてみる？『人間は、「のんびりしよう」なんて考えてはダメ』だと、佐藤愛子さんは書いていらっしゃる。いくつになっても、毎朝起きて「さぁ、やるぞ！進撃！」と言った気分で、パッと起きるのが頭にも。体にも良いそうです。気力のある毎日こそ、若さの秘訣ではないでしょうか!!「九十歳、何がめでたい」の気持ちで頑張りましょう。

会員作品

◆木工◆『行灯（あんどん）』
長崎　定信　西部 1—2 班

◆組紐◆『伊勢海老』
木本　秀子　中部 2—1 班

◆写真◆『春を待つ』
西川　正美　西部 4—4 班

俳句

上須　喜久治　西部 1—2 班

・卓上の地球儀被（おほ）ふ初日（はつひ）かな（新年）
・船に乗せ社（やしろ）に残す雛（ひひな）かな（春）
・シルバーの伊根湾巡り秋日和（秋）
・木枯しや今日恙（つつが）なく床（とこ）に就（つ）き（冬）

短歌

新谷　孟　北部 2—3 班

・一会あればその別れ来る教会へ
　続ける道に桜咲くころ
・かたみなる想いは言わずほほえみて
　これより逢へぬ手を握り合ふ
・とめどなく人のこころの墜ちてゆく
　経済大国の裏の傾斜を

愛妻川柳

南　政義　西部 1—2 班

・言い訳を妻は他人の顔で聞く
・恋女房今じゃ化粧の濃い女房
・浮気せず妻一筋に五十二年

新年に想う

編集委員

今年は戌年。犬は飼い主の恩を決して忘れぬと言う。先ず帰らぬ主人を駅で待ち続けた忠犬ハチ公。我が市内にも犬鳴山の名前の由来の義犬の像がある。太古、飼い主が大蛇に襲われた時、生命を捨ててまで吠え続けて主を守ったと言う伝説。私達も生まれてから数知れぬ人々の労わり、励ましを頂き、そして努力をして、シルバーと呼ばれる年代まで生きて来られた。その六十歳、七十歳、八十歳と言う長い年月に紡いで来た「知と技」を、人の世への恩返しと思い、日々神佛に感謝しながら健康で又一年を過ごしたい。

結婚した頃は通勤に、買い物、保育所の送迎、遊び、学び、生活の友として、何時でも、何処へでも、私を連れて行ってくれた。子どもからはダサイと言われ、大人からは骨董品やと言われる。錆はきているが、車体は今もガッチリとしている。今は亡き両親が、嫁入り道具として持たせてくれた、愛車の自転車。私と人生を共に歩んで、見守ってくれた。五十六年間も走り続けている。感謝・感謝。そして今年も共に元気で頑張るぞ。